

平成29年2月22日

内閣府 SIP 自動走行担当

「自動走行技術の研究開発の推進に関する日独共同声明」
を踏まえた協力内容の検討について

1. 日独共同声明の概要

- 鶴保内閣府特命担当大臣（科学技術政策）とドイツ連邦教育研究省BMBFのヴァンカ大臣は、本年1月12日に会談し、自動走行技術の研究開発の推進に係る協力に向け、努力していくことで合意、共同声明を発表。（別紙参照）
- 今後の連携に向け、実証実験など日独双方の取組について共有し、関係者との協議、調整の上、日独協力を具体化。

2. 協力内容の具体化の検討(案)

■ 専門家会合(随時)の開催

- ✓ 欧州で夏頃開催の国際会議・イベントの機会に合せて、国際連携6テーマ(等)の一部又は全部について、日独双方の専門家による意見交換の機会を設定

■ 大規模実証実験等の機会を利用した意見交換の促進

- ✓ 大規模実証実験等についてドイツ側での関係者への周知、参加検討
- ✓ 日本側で実証実験実施時期に合せて、ドイツ側希望に応じて視察、意見交換の機会を検討

■ SIP-adus 国際ワークショップへのドイツ側の積極参加を呼び掛け

- ✓ 共同セッションの開催
- ✓ 日独双方の実証実験、研究開発プロジェクト等に関する Breakout Workshop の開催

■ 双方窓口の交換等

- ✓ 当面は、内閣府が主窓口となり、先方からの意見、協力ニーズ等を把握し、関係者と相談。（今後、協力検討のテーマ等が具体化してきた段階で、必要に応じて、国際連携6テーマの専門家の方々をドイツ側に紹介）
- ✓ これら意見交換、交流を通じて、個別テーマについて、双方のニーズ等を一致するようであれば、共同研究(matching fund)の実施を検討

3. 今後の予定

- 今月中を目途に日本側検討・意見を取りまとめ、ドイツ側に送付。
- ドイツ側からの意見等を踏まえて、更に関係者間で検討を進める。